

東海北陸ブロックで精神病院労組学習交流集会

4月28日～29日に東海北陸ブロックで精神病院労組学習交流集会 in 金沢が開催されました。集会には、富山、石川、岐阜、愛知、全医労から28名が参加し、地元松原病院労組からは大勢の参加がありました。

司会は、西尾中執が行い、開会あいさつを馬渡議長、日本医労連精神部会長の東さんが基調報告を行いました。

参加者からは、春闘の到達や組織拡大、組合日常活動について交流しました。2015年度は組合結成から南知多病院労組と須田病院労組が10周年、松原病院労組が30周年という節目にあたり、大幅な組織増に取り組む意気込みが語られました。

2日目には、「歴史の曲がり角に立つ精神医療～精神諸国の精神医療に追いつくか、永遠に取り残されるか～」と題して、元日本医労連精神部会長でうおいの里理事長の氏家憲章さんから記念講演があり、新オレンジプランの問題点や日本の精神医療の展望について話されました。

講演後は、それぞれの病院の取り組みや医療改革への思いを交流し、閉会挨拶は東さんから「精神改革の視点を持ち実践活動やケースを出し合い、医療モデルから社会モデルの学びと実践し活動していく場を意識的に作っていこう。医療研活動の原点を今一度振り返り、職場から地域へはたらきかけていこう。」と話され、東海北陸ブロック精神病院労組学習交流集会は、県を超えて支え合い、励まし合い元気の持てる交流集会となりました。



講師の氏家憲章さん

医療研分科会のお知らせ

6月12日（金）～13日（土）に開催される第42回医療研全国集会 in 鹿児島第9分科会のお知らせです。

全国的に、どこの病院でも最近では病床稼働率が減少し、経営が赤信号の病院が出てきました。疾病構造も変化して、救急でも認知症の方が入院する事があり、空きベッドを認知症の方の入院で埋めていく病院も出ています。しかし今も尚、精神科特例は廃止されず少ない人員で、認知症の方を十分に看る事が出来ず、余計にADLが下がり退院できなくなったケースも多く報告されています。脱施設化が進めばベッド稼働率は当然下がり将来の精神科病院はどうなるの？という不安の声も聞かれます。

9分科会ではそのような日頃からの悩みや不安などを出し合いどのように政策要求を出していくか一緒に考えます。是非、多くの方の参加をお待ちしています。

第47回精神医療関係労組全国
交流集会のお知らせ

開催日：10月17～18日

開催地等は現在検討中です。

決まり次第お知らせします。